

立ちどまらない保険。



MS&AD ESG説明会2019

MS&ADの価値創造ストーリーとその実践

レジリエントでサステナブルな社会の実現に向けて



2019年12月20日(金)

本日のアジェンダ

I. 「Vision 2021」における サステナビリティ取組の進捗状況

- サステナビリティ課題への取り組みの表明
- 品質の向上と経営基盤の強化の取組状況
- CSV取組の進捗状況
- CSVの実現に向けて

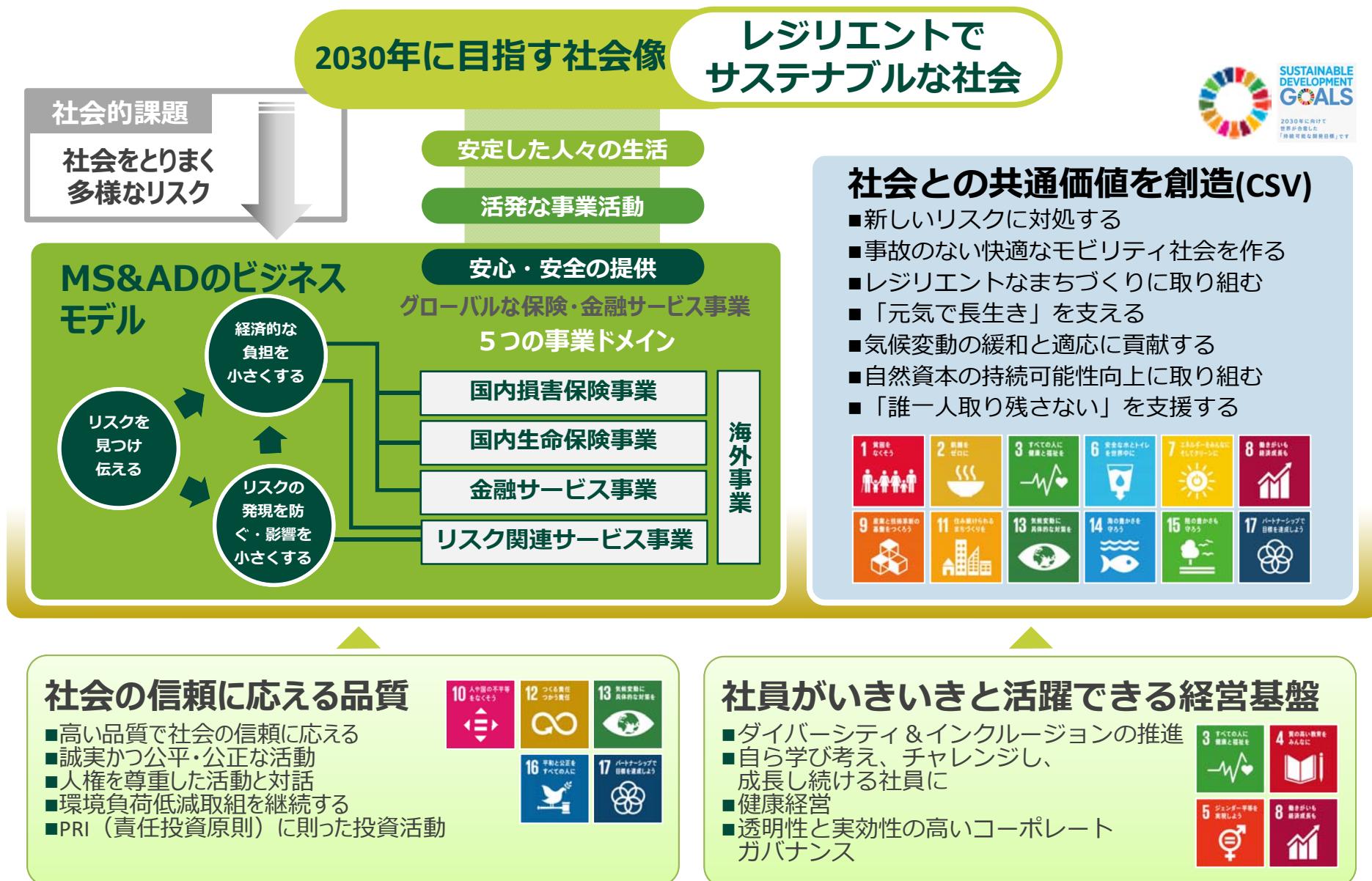
II. コーポレートガバナンスの取り組み



I. 「Vision2021」における サステナビリティ取組の進捗状況

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部長
金子 美和子

MS&ADの「価値創造ストーリー」



サステナビリティ課題への取り組みの表明

サステナビリティ課題への取り組み

- MS&ADインシュアランス グループは、商品・サービスの開発や提供および投融資等グループのあらゆる事業活動において、環境・社会・企業統治(ESG)等のサステナビリティに配慮します。
- グループ中期経営計画「Vision 2021」では、SDGsを道しるべとし、気候変動への対応、自然資本の保全および人権尊重の3つの分野を中心に、具体的な取り組みを進めていきます。気候変動は、気象災害や生態系に大きなインパクトをもたらす特に重大なリスクと認識しています。
- パリ行動誓約への署名企業として、気候変動リスクを低減するための新しい技術・取り組み等を支える活動を続けていきます。
- 安心と安全を提供する保険・金融グループとして、ステークホルダー等との対話を大切にし、サステナビリティ課題への理解をともに深め、社会との共通価値の創造に取り組みます。

CSV取組を支える経営基盤の強化

「MS&AD統合レポート2019」

P.28

	テーマ	モニタリング指標	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度以降の グループ目標	
社会の信頼に応える品質 	品質向上	ご契約時のアンケートにおけるお客さま満足度	95.2%	97.1%	前年度同水準以上	
		保険金お支払い時のアンケートにおけるお客さま満足度	96.3%	96.6%	前年度同水準以上	
	環境負荷低減	CO ₂ 排出量削減率 数値は基準年度（2009年度）からの削減率	▲6.8%	▲13.3%	基準年度（2009年度）のCO ₂ 排出量に対し、2050年に70%、2020年に30%削減	
		総エネルギー使用量 ✓ ()は基準年度からの削減率	1,017,853GJ (▲28.1%)	987,452GJ (▲30.3%)		
		紙使用量	11,085t	10,545t	対前年度比改善	
	社員がいきいきと活躍できる経営基盤 	ダイバーシティ & インクルージョン	女性管理職比率（国内）✓ ()は海外を含むグループ連結ベース	9.9% (15.7%)	12.4% (18.1%)	15.0% (2020年度)
			社員満足度「いきいきと働く」	4.3 ポイント	4.3 ポイント	前年度同水準以上
			グローバル従業員数・比率✓	9,184名 (22.2%)	8,958人 (21.6%)	サステナビリティKPI以外の主なモニタリング指標
			障がい者雇用率✓	2.37%	2.37%	
		健康経営	社員満足度「誇り、働きがい」	4.4 ポイント	4.4 ポイント	前年度同水準以上
			年次有給休暇取得日数	16.0日	15.6日 ^{*1}	前年度同水準以上
			男性育児休業取得率	58.0%	63.9%	前年度同水準以上
			社会貢献活動実施社員数	20,022名	23,601名	前年度同水準以上

✓2018年度数値は、当社統合レポート上で、KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けている。

*1 大規模自然災害対応の影響

人権を尊重した活動と対話の実践

MS&ADインシュアランスグループ 人権基本方針（2017年2月に制定）

MS&ADインシュアランスグループは、経営理念の実現に向け、あらゆる事業活動において環境や人権を含む社会との相互影響を考慮し行動することを通じて、企業価値の向上を図るとともに、持続可能で強くしなやかな社会づくりに貢献します。

バリューチェーンも含めた私たちの事業活動が人権に及ぼす顕在的・潜在的な負の影響に責任があることを認識し、人権を尊重した活動と対話を実践します。その態勢を構築するため、本基本方針を定めます。

- 1. 基本的な考え方**
- 2. 人権尊重のマネジメントシステム
(人権デュー・ディリジェンス)**
- 3. グローバルな保険・金融サービス事業者としての責任**

具体的な取り組み

- 英国現代奴隸法に関する声明
- 人権啓発の取り組み
- 相談窓口（スピークアップ制度）
- 人権デュー・ディリジェンス

グループ各社の社員がコンプライアンスに関する事項などを報告できる「内部通報制度」を設けています。社内外に受付窓口を設け、秘密保持など通報者・相談者の保護を図っています。2018年度には、スピークアップ制度と名称を変更し、フランクかつ前向きに声を出すことができる環境整備に取り組み、2019年4月10日付けで消費者庁の「内部通報制度認証（自己適合宣言登録制度）※3」に登録されました。

※3 事業者が自らの内部通報制度を評価し、認証基準に適合している場合、当該事業者からの申請にもとづき、消費者庁の指定登録機関がその内容を確認した結果を登録する制度



健康経営の取り組み

当社グループは、さまざまな価値観を持つ多様な人財が働く場を提供するため、社員一人ひとりの心身の健康を保持増進することを目的とした、健康や安全に配慮した職場環境づくりに取り組むとともに、働きやすさ・やりがいを感じながら生産性を高めていく「働き方改革」を推進しています。

社員の健康保持・増進

- 健康増進のサポート
- 健康リテラシーの向上
- メンタルヘルスケア

働き方改革

- 長時間労働の防止
- 有給休暇取得推進
- 働く場所・時間の多様化



このような取り組みが
高い評価を受けました。

健康経営銘柄2019



ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み

女性役員の輩出・育成

グループ共通

2019年5月に女性役員輩出に向けた世界的なキャンペーンである「30%ClubJapan」に、グループCEOが加入しました。持株会社の監査役を含む取締役会メンバーの女性比率は2019年10月現在25%ですが、2025年度までに30%以上にする目標を定めました。グループ横断で女性部長のネットワークを新設し、社内外講師によるセミナーをはじめ、グループ間役員メンターや関連事業会社の非常勤取締役への就任などを行い、女性役員の育成・輩出に取り組みます。



30% Club
GROWTH THROUGH DIVERSITY

役員・管理職の意識改革

グループ共通

2019年4月にグループの役員を対象に、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)への理解を深めることを目的として、ダイバーシティ&インクルージョン役員研修を実施しました。また、管理職の意識改革取組としては、アンコンシャス・バイアスを理解し、自らのバイアスに気づいて、コントロールする手法を学ぶマネジメント研修やe-Learningを実施しています。



アンコンシャス・バイアスとは？

例えば「男性はリード役、女性はサポート役」、「女性に責任の重い業務を担当させるのはかわいそう」、「小さな子供を持つ女性に出張は無理」など、年齢や性別などによる思い込みを意味する言葉です。

外部評価



社会との共通価値の創造(CSV取組)		当社への 経済的インパクト	社会へのインパクト
取組事例		2030年 目指す 社会像	
新しいリスクに 対処する	サイバーリスク対応 商品 MS AD	2017-18年度 契約増加率 前年度比9.0%増	サイバーリスクから 守られている法人・組織 約9,700社
事故のない快適な モビリティ社会を 作る	テレマティクス技術を活用 した安全運転支援サービス MS AD	導入企業数 約1,400社	導入企業の支払保金額の 削除率 36.5%
レジリエントな まちづくりに 取り組む	地震保険 MS AD	2018年度契約件数 約3,363千件	2018年度全国新契約 件数における割合 36.1%
「元気で長生き」 を支える	ガンの多様な治療方法 に対応する保険 MSA生命	2018年度新契約件数 約213千件	「いのち・医療に関する 情報提供セミナー参加 人数 14,147人
気候変動の緩和と 適応に貢献する	メガソーラー総合補償 プラン MS AD	2018年度新契約件数 約4,600件	同プランを活用する発電量 (同量の火力発電CO2 排出量) 1,690千トン
自然資本の 持続可能性向上に 取り組む	水リスク簡易評価 インタ総研	評価した拠点数 244拠点	水不足のリスクが高い拠点 の割合 40.7%
「誰一人取り残さな い」を支援する	認知症「神戸モデル」 MS	加入保険料 3カ年合計(見込み) 約3.9億円	神戸市民の認知症検査申 込者数 8,598人

レジリエントでサステナブルな社会

気候変動への緩和と適応

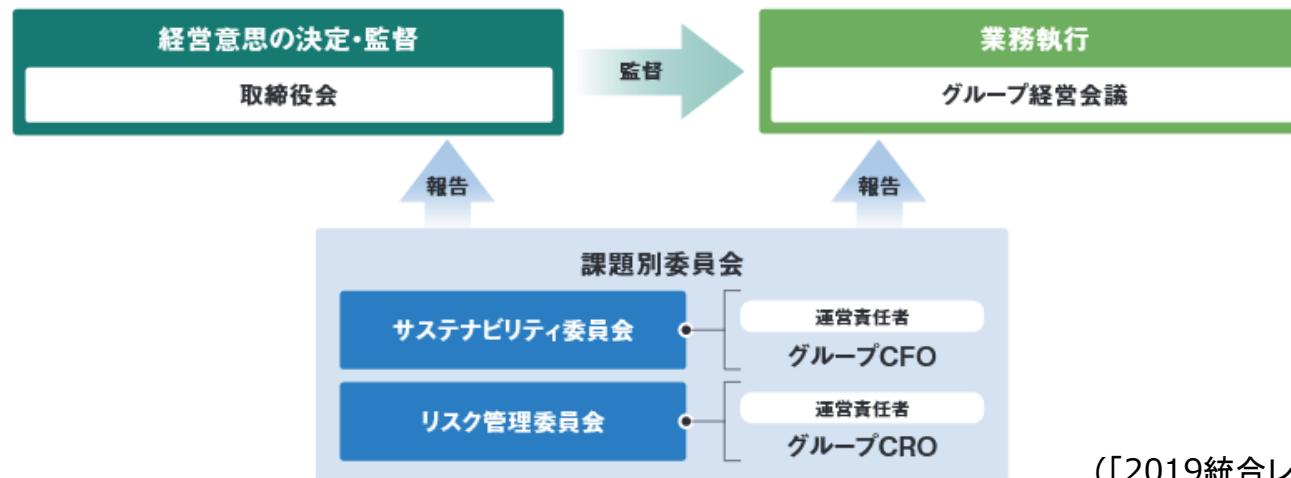


事業活動全体にわたり、環境、社会、企業統治の調和を配慮

TCFD開示への対応

■ガバナンス：気候関連の内部統制

取締役会では、グループCFO・グループCROやサステナビリティ委員会・リスク管理委員会等から気候関連の報告を受け、グループの主たる戦略等の論議・決定を行っています。



(「2019統合レポート」p65より抜粋)

■戦略：気候関連のリスクと機会の開示

-リスク

- ・自然災害リスクの管理高度化、保有量コントロール強化、期間損益変動安定化

-機会

- ・甚大化する気象災害に備える企業等のリスクソリューションの開発と提供
- ・脱炭素社会に向けた新たなビジネスへリスクソリューションの開発と提供

■研究

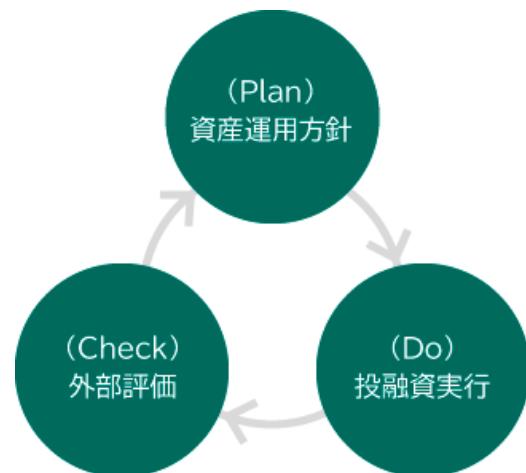
- ・UNEP FIの保険TCFDプロジェクトに参加し、シナリオ分析開発中

当社グループのESG投融資について

ESG投融資の考え方

2015年よりPRI署名機関として、本格的にESG投融資を開始。アセットオーナーとして、収益性を前提としたESGテーマ型投資に取り組む一方、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保は、「日本版スチュワードシップ・コード」の受け入れを表明し、ESGの視点も踏まえた投資先企業との「建設的な対話」を実践。

ESG課題に配慮した投融資



【当社で分類しているESG投資の手法例】

ESG投資手法	内容
ESGテーマ型投資	収益性を前提とした、社会課題解決につながるテーマを持った資産等への投資
インパクト投資	運用収益の獲得と社会的インパクトの創出(社会の構造変化等)の両立を意図して投資判断を行う投資手法
その他ESGテーマ型投資	インパクト投資に含まれないテーマ型投資
ESGインテグレーション	投資プロセスへのESG要素の体系的な組込
リサーチへの組込	企業分析・評価においてESG要素を体系的に組込
ポジティブ・スクリーニング	ESG格付等が高い企業でポートフォリオを構築
ネガティブスクリーニング	特定の資金使途・業種等をポートフォリオから除外する枠組みを構築
ESG対話(エンゲージメント)	ESG課題に関する対話活動

- グリーンボンドへの投資（約40億円）
- ESG日本株式ファンドへの投資（55億円）
- 再生エネルギーに係る投融資（50億円）
- JICA発行ソーシャルボンドへの投資（10億円）
- アフリカ開発銀行発行インダストリアライズ・アフリカ・ボンドへの投資（約26億円）

【ESG投融資実行例】

上記は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井住友あいおい生命等グループ各社の取り組み

ESG投融資の拡大にむけて

ESG投融資における課題

1. ESG投融資方針等の策定

- ・ESG投融資方針や「気候変動」や「自然資本」などの個別テーマに関する基準等の策定

2. ESG投融資体制の強化

- ・インテグレーションやエンゲージメントの高度化に向けた体制強化（審査・対話力向上、インフラ整備等）
- ・NGOとの連携、外部ESG情報活用の強化（専門性、ネットワーク）

今後の取組施策

1. 保険、資産運用、当社グループ固有の事業活動との連携

保険引受、投資、金融事業サービスなどあらゆる局面でのサステナビリティ取組の推進

2. インパクト投資の拡大

グリーンボンドをはじめ、全てのアセットでインパクトが計測できるような仕組作り

3. ESG投融資高度化

インテグレーションやエンゲージメントの高度化、ERMへの組み込み、情報開示の拡充を重点課題とし、よりレベルアップするためのグループ横断プロジェクトの推進

4. エンゲージメントの質の向上

中長期的な視点での投資先企業の企業価値向上や持続的成長を促す観点から、経営上の課題や株主還元方針、ESG等の非財務情報の把握に重点を置いた投資先企業との「建設的な対話」を実施

CSV実現に向けた取り組み：サステナビリティコンテスト

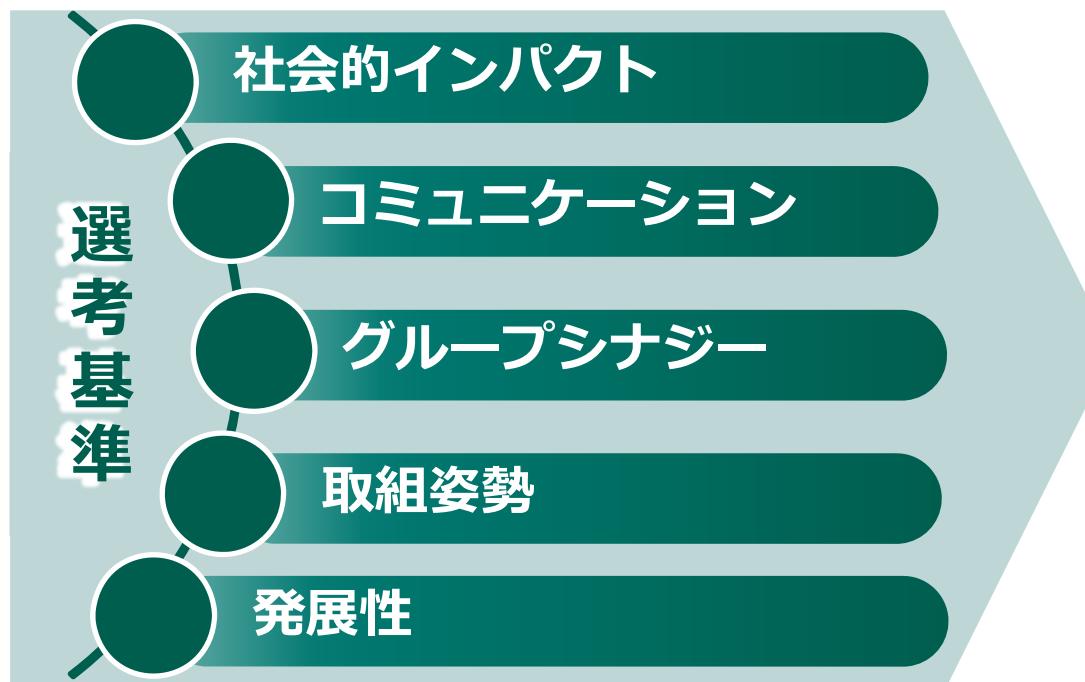
グループ縦断
MS&ADインシュアラنسグループ
サステナビリティ コンテスト 2019

当社グループや社会のサステナビリティ（持続可能性）につながって（役立って）いる取り組み事例を募集。新たな業務・事業の提案も受け付け。

■ 対象：MS&ADグループに所属する全社員

サスコン

SDGsは道しるべ
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



総応募数：**309件**
(海外から22件)
優秀賞 : **7組**
最優秀賞 : **2組**

事例 1：災害に強いまちづくり「cmap.dev」

社会的課題

被災地域の特定と被災状況の把握が困難

人命救助や避難所開設などが遅延・混乱

課題解決

「シーマップ[®]」を通じて

最新の被害状況を確認

「いつ」でも「どこから」でも無償でアクセス可能

社会へのインパクト

地方自治体の迅速な初動対応

地域住民への適切な支援活動

今後の防災・減災にも活用

安心・安全な地域社会の確立

当社への経済的インパクト

迅速な災害対応態勢の構築

迅速な保険金支払

SDGsへの貢献

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



事例2：マレーシア先住民向け専用住宅の火災保険

社会的課題

マレーシアの急速な経済発展の一方で
先住民の貧困問題に対する解決と
居住環境の改善が遅延

課題解決

EPIC Homesが推進する建築プログラムに
ボランティアとして参加
住宅専用の火災保険を開発、**支援スキームの
補償**をパッケージ化

SDGsへの貢献

1 貧困をなくす



11 住み続けられるまちづくりを



社会へのインパクト

先住民の居住環境の改善と
金融リテラシーの向上

スポンサーへの安心提供

コミュニティの持続可能性の
向上

当社への経済的インパクト

社会的課題解決に資する
保険商品・サービスの開発

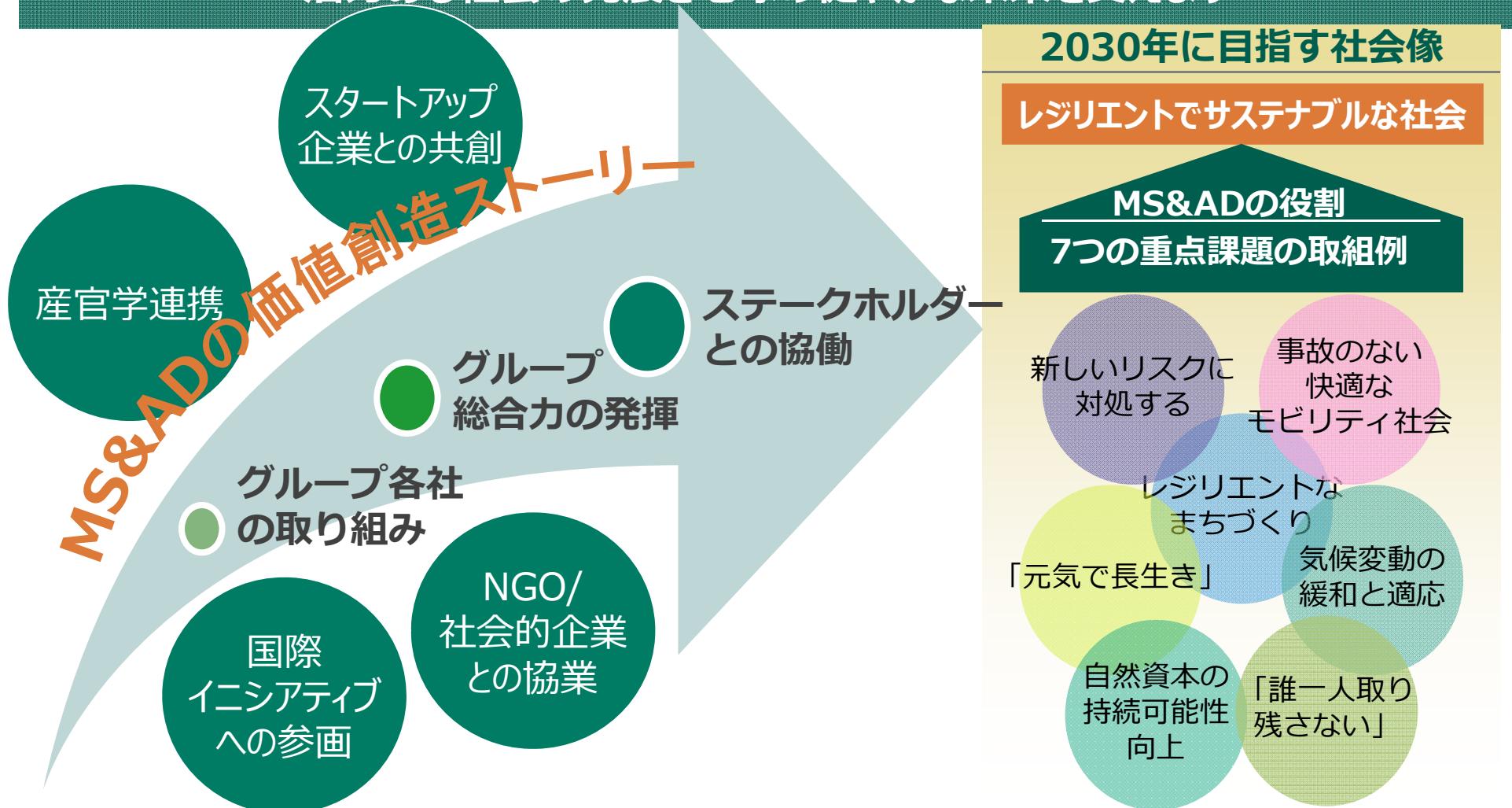
他の**社会的課題解決への適用**

社員のサステナビリティに
対する**意識の向上**

CSVを実現する多様なパートナーとの協働

Group Mission

グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます



国際的なイニシアティブへの参画



国連グローバル・コンパクト

2004年より賛同。現在、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン理事企業として運営にも関わっている



Principles
for Sustainable
Insurance



Principles for
Responsible
Investment

UNEP FI 国連環境計画 金融イニシアティブ 持続可能な保険原則への署名 責任投資原則への署名



企業と生物多様性イニシアティブ

2007年、第1回「企業と生物多様性シンポジウム」の開催を契機に発足
(当時三井住友海上、現在MS&ADが会長)

-サプライチェーン、土地利用、情報発信などをテーマにワーキンググループ形式で取り組む



NATURAL CAPITAL
FINANCE ALLIANCE
Finance sector leadership on natural capital

2016年、自然資本宣言に署名、NCFAに参画

-自然資本評価における最新研究を参考にリスク評価手法を開発

CDP Climate Change Aリスト



Dow Jones Sustainability Indices (World / Asia Pacific)

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
 In Collaboration with RobecoSAM

FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom
Japan

FTSE4Good Index Series



MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数*

MSCI | 2019 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

MSCI 日本株 女性活躍指数*

MSCI | 2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

S&P JPX カーボン・エフィシェント指数



ECPI Indices



STOXX Global ESG Leaders Index



*MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社のMSCIインデックスの組み入れ、およびMSCIロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるMS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社のスポンサーシップ、推薦またはプロモーションを意味するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

(2019年7月1日現在)



II.コーポレートガバナンスの取り組み

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
取締役副社長 グループCFO
藤井 史朗
社外取締役(独立役員)
池尾 和人

2018年度・2019年度の主要取組

取締役会運営のレビューと改善

- 取締役会の実効性評価の実施
- 付議事項に関する規程の見直し

CEOサクセッションプランの策定

- 選任基準および選解任のプロセス
- 後継者育成計画

役員報酬制度の改定

- 固定報酬／業績連動報酬の割合見直し
- 中長期および短期の業績評価基準導入

取締役会における主な論議事項

- 中期経営計画の進捗状況と今後の方針
- 中期的課題の認識共有
- 投資案件の論議（主に海外案件）
 - Challengerとの提携強化
 - シナーラマスMSIG生命の子会社化
 - MS&AD Ventures の投資枠拡大
- IR活動と株価動向

取締役会の実効性評価（2018年度）

「MS&AD統合レポート2019」

P.76

評価プロセス

自己評価アンケート^{※1}
の実施と集計

社外取締役会議
における意見交換

ガバナンス委員会^{※2}
での取りまとめ

機能向上策の実施

※1 質問票(9項目)を事前配布し、
事務局によるインタビュー形式
で実施

※2 社外取締役全員、取締役会長、
取締役社長で構成

評価結果の概要

2018年度の実行評価

今後の課題

取締役会における 論議内容と機能発揮

- ・海外投資等のリスクテイク案件について、各案件に深く踏み込んだ活発な論議を実施した。
- ・グループのビジネスモデルである「価値創造ストーリー」とCSV、SDGsへのグループ内の理解浸透が進んだ。
- ・「MS&AD統合レポート2018」等を通じ、経営理念（ミッション）をより具体化した「価値創造ストーリー」を発信し、グループ内の理解浸透と社外からの評価向上を実現した。
- ・内部通報制度を「スピーカップアップ制度」に名称変更し、匿名受付の拡充を図った。通報件数も増加し、実効性が向上している。

- ・「Vision 2021」の重要テーマ（サステナビリティ、デジタライゼーション、ダイバーシティ＆インクルージョン推進）や事業戦略等について社外役員の理解を深め丁寧な論議をさらに加速させる。

- ・「価値創造ストーリー」を実践する取り組みが、CSVおよびSDGsにつながることをグループ全社員に浸透させるため、さまざまな手法を通じて社員のさらなる意識向上に取組む。
- ・「スピーカップアップ室」を中心に、スピーカップアップ制度の更なる認知度向上、実効性向上のため、情報発信を強化する。

取締役会の運営

- ・議案数は減少し、戦略決定に向けた重要議案に時間を割いて論議することが定着した。
- ・効率的な会議運営により、定例取締役会における1件あたりの平均審議時間が毎年増加している。

- ・毎回の取締役会における論議・意見交換の機会を拡充するため、会議時間を2018年度よりも長く設定する。

その他

- ・自然災害の保険金支払いを集中して行う災害対策本部の視察等、2017年度に引き続き事業会社見学会を実施した。

グループの持続的成長と企業価値の向上を目指して、グループCEOの選解任および後継者の育成を重点課題の一つと位置付け、サクセッションプランを策定

CEO選任のプロセス

CEOによる推薦

- CEOは複数の候補者に優先順位をつけ推薦
- 候補者には当社グループ内出身者に加え、当社グループ外の人財を含めることができる

人事委員会の審議

- 委員の過半数及び委員長は社外取締役
- 社外取締役は、別の候補者を推薦できる

取締役会の決議

- 人事委員会は取締役会に助言を行い、取締役会の決議により決定

CEO選任基準

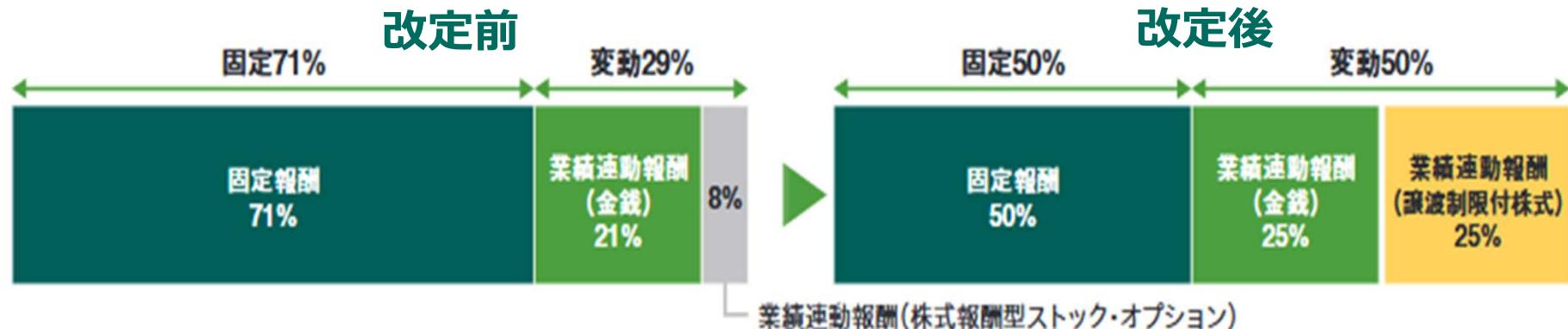
- グループの経営理念（ミッション）・経営ビジョン・行動指針（バリュー）を体現し、社会との共通価値の創造（CSV）の実現に高い価値観を有している。
- 将来ビジョン構想力、構築力を備えている。
- 公平・公正さを備えている。
- 人財育成能力を有している
- リーダーシップが発揮できる。
- グローバルな対応力を有している。
- グループベストを行動の基本としている。

CEO解任のプロセス

- 社外取締役は、CEOが執行役員規程に定める禁止事項に該当した場合（会社法その他の法令または会社の規程に定める義務に違反する論議が必要と判断した場合）には、自らの発議によりCEO以外の人事委員会委員と審議する。その審議結果にもとづき、会社法および社内規程に則り、必要な手続きを行う。
- 社外取締役以外の取締役は取締役規程にもとづき取締役会を招集の上、株主総会における取締役解任議案の提出を求めることができる。

業績連動の割合を高め、KPIには、中長期目標として「サステナビリティ重点取組」の達成状況を設定

報酬構成比率のイメージ（取締役会長・取締役社長の場合）



(注)上図は一定の会社業績及び当社株式の価格を基に報酬構成比を示したもの。

重要業績評価指標（主なKPI）

財務指標（単年度業績）	非財務指標（中長期業績）
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ修正利益 ・連結当期純利益 ・グループ修正ROE 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを道標とした社会との共通価値の創造（CSV）に向けた取り組み「サステナビリティ重点取組」の達成状況 ・グループ中期経営計画「Vision2021」に掲げた「重点戦略」（グループ総合力の発揮、デジタライゼーションの推進、ポートフォリオ変革）の達成状況



MS&ADグループの多様性を活かした経営や、それを担う人財の育成の下地として、コーポレート・ガバナンスを強化

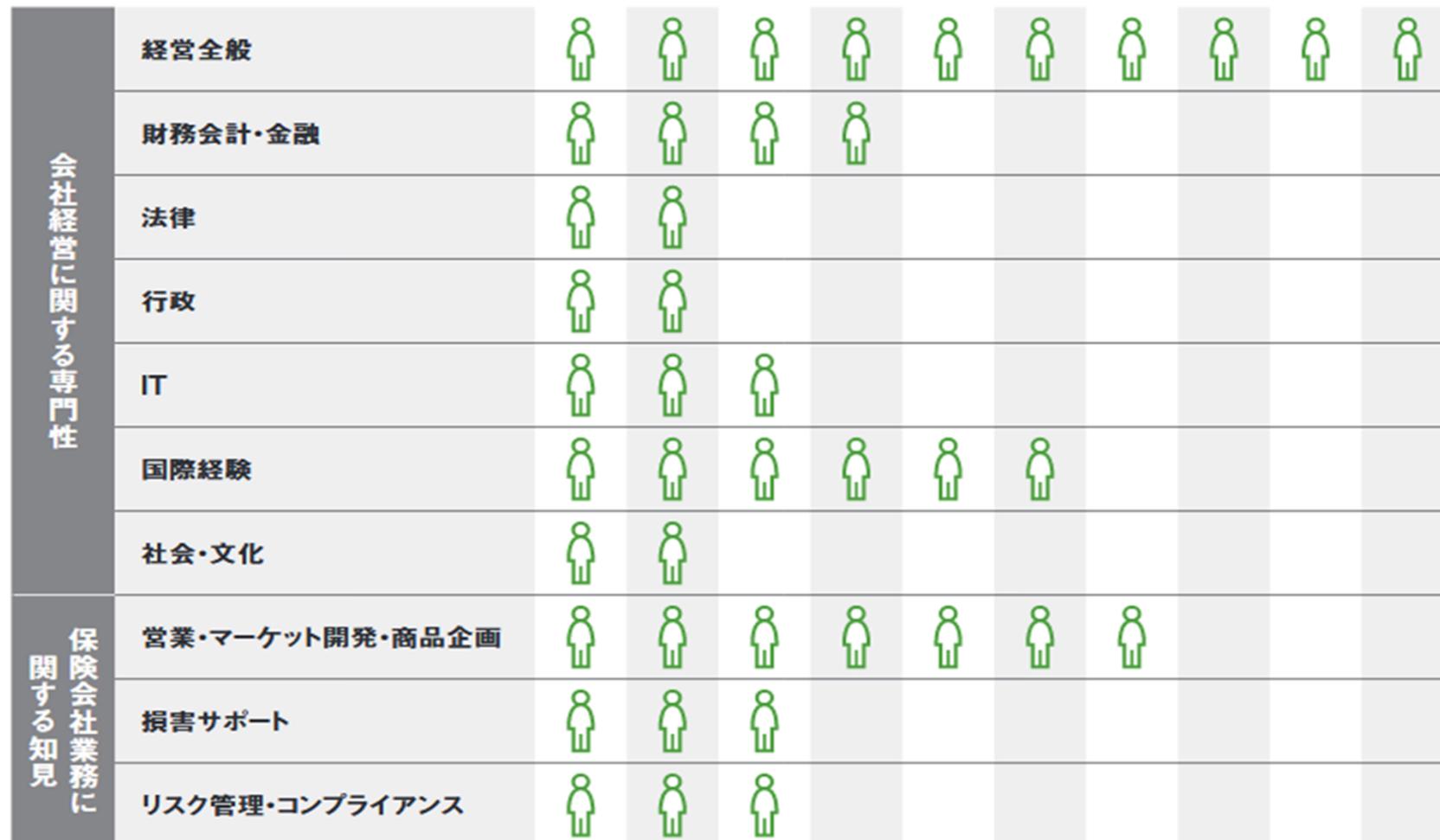
コーポレートガバナンスの役割 = 経営の品質管理

取締役メンバーはチームとしてバランスが取れていることが重要



5人の社外取締役をはじめ、多様なスキルセットを持った取締役が、それぞれの専門性を活かし、どのような議論でも対応できるメンバー構成

取締役のスキルセットの分布*



*各取締役の職歴や選考理由等にもとづき、知識・経験・能力等に関わる項目を設定して、それらに該当する人数をプロットしたものです。

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS&ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点での把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

**MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部**

Tel: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/index.html>

